

2022年10月25日

投資家の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

「ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型)」の基準価額の下落について

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

足許の市場動向と「ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型)」(以下、「ファンド」ということがあります。)の基準価額への影響に関しまして、下記の通りご案内いたします。

今後ともお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

◆ ファンドの基準価額

コース名	2022年 10月24日 基準価額(円)	2022年 10月25日 基準価額(円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
ツインα・コース	409	384	▲25	▲6.11
シングルα・米ドルコース	1,557	1,456	▲101	▲6.49

(騰落率については小数点第3位四捨五入)

10月25日はファンドの決算のため、上記の騰落には分配落ち分(1万口当たり、税引前、ツインα・コースで5円分、シングルα・米ドルコースで20円分)が含まれています。

◆ 市況情報

	2022年10月21日	2022年10月24日	騰落率 (%)
iシェアーズ MSCI ブラジル ETF(米ドル建て)	34.09	31.98	▲6.19

(小数点第3位四捨五入)

上記については基準価額への反映を考慮し、10月21日と10月24日を比較しています。

	2022年10月21日	2022年10月24日	騰落率 (%)
米ドル(対円レート)	149.99	148.76	▲0.82

(小数点第3位四捨五入)

上記については基準価額への反映を考慮し、10月21日と10月24日を比較しています。
為替レートはWMロイター社が発表するロンドン時間午後4時のレート(単位:円)です。

出所:ブルームバーグ

◆足許の状況

ブラジル大統領選の決選投票を10月30日に控えて政治的な緊張感が高まる中、ボルソナロ大統領を支持して過激な言動を繰り返していた元国会議員のロベルト・ジェファーソン氏による警察官への銃撃事件が23日に発生したことなどが嫌気され、ブラジル株式市場は下落しました。また、ブラジルの主要貿易相手国である中国において、習近平総書記による3期目の最高指導部が発足したことを受けて、同氏への権限のさらなる集中や統制の強化により、経済や民間企業の成長が抑制されるとの懸念が強まり、中国本土および香港の株式市場が大幅に下落したことなどもブラジル株式市場が下落する一因となりました。

このような市況の下、ファンドの基準価額が前営業日比で大幅に下落しました。

◆今後の見通し

世界的なインフレの長期化への懸念を背景に、各国における金融引締めが世界的な景気減速につながると警戒されておりますが、ブラジルにおいては、他国に先駆けた積極的な利上げや燃料に対する減税策等が奏功し、インフレ率はピークを迎え鈍化傾向を示しております。米国においても年内に利上げ幅が縮小されるとの見方も出てきており、各国の内外における経済活動が企業業績の支えとなることが見込まれます。このような中、ブラジル大統領選については10月2日の第一回投票において接戦となった現職のボルソナロ大統領とルラ元大統領とで10月30日に決選投票が実施されますが、いずれの候補者が勝利したとしても、ブラジルの経済および株式市場にとってサポートとなる政策を実現していくとの期待が強まっており、今後も大統領選の行方をめぐり、ブラジルの株式市場は変動性が高まる展開となっておりますが、過度なリスク回避姿勢が和らぐ局面では落ち着きを取り戻すと考えております。

中長期的な観点では、若年層の構成比が高い人口構造を有するブラジルでは、国内消費の伸びやインフラ投資の拡大などを通じた内需主導の経済成長が見込まれ、株式市場についても成長軌道に乗っていくとみています。

以上

※ iShares® (iシェアーズ®) はブラックロックの登録商標です。ブラックロックは「ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型) ツインα・コース/シングルα・米ドルコース」について出資、発行、保証、販売及び販売の促進をするものではありません。またブラックロックは、「ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型) ツインα・コース/シングルα・米ドルコース」への投資についてなんら意見を表明、あるいは保証するものではなく、ファンドにかかる業務、営業、トレーディング及び販売に関して、一切責任を負うものではありません。

当資料はT&Dアセットマネジメントが投資家の皆様への情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したものです。その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

投資信託のお申込みに際してのご留意事項

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

投資信託に係る費用について

◇投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料・・・上限 4.40%(税込)

信託財産留保額・・・上限 解約金額の 0.55% または1口（設定時1口1万円）あたり 250 円

◇投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）・・・上限 年 1.98%(税込)

その他費用・手数料・・・上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。

投資信託証券を組み入れる場合には、間接的にご負担いただく費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの間接的な費用のご負担額に関しましては、その時々各投資信託証券の組入比率や取引内容等により金額が変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」でご確認ください。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、T&Dアセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をよくお読みください。